

件名	令和2年度国民健康保険の決算状況（速報値）について				
経緯	県内27市町村及び1国民健康保険組合の令和2年度の国民健康保険の決算状況を取りまとめたので報告する。（参考 1国保組合＝山梨県医師国民健康保険組合）				
内容	令和2年度の決算状況は、次のとおり。（単位：千円）				
	区 分	令和2年度	対前年度増減		令和元年度
	歳入総額 A	89,275,435	△4.4	△4,089,049	93,364,484
	歳出総額 B	86,709,714	△4.8	△4,396,130	91,105,844
	歳入歳出差引（形式収支）(A-B)C	2,565,721	13.6	307,080	2,258,640
	国庫支出金等精算額 D	△26	△52.9	△9	△17
	実質収支 (C+D)E	2,565,695	13.6	307,072	2,258,623
	前年度実質収支 F	2,258,623	△13.6	△354,349	2,612,972
	単年度収支 (E-F)G	307,072	186.7	661,421	△354,349
	一般会計からの繰入等※ H	484,427	△23.2	△146,107	630,534
	財政調整基金への積立金 I	543,909	△39.4	△352,964	896,873
	実質単年度収支 (G-H+I) J	366,554	516.5	454,564	△88,010
	※一般会計その他繰入、財政調整基金繰入および国民健康保険財政安定化基金貸付金を合算した額				
	財政調整基金保有額	9,421,645	11.4%	962,551	8,459,094
		○ 形式収支(歳入総額から歳出総額を差し引いたもの) 25億6,572万円の黒字であり、前年度と比較して、3億708万円余増加している。			
	○ 実質単年度収支 (一般会計からの法定外繰入、財政調整基金の取崩・積立などを加減したもの) 3億6,655万円の黒字であり、前年度と比較して4億5,456万円余増加している。 令和元年度の8,801万円の赤字から黒字に転じ、黒字保険者は17保険者で、前年度より2保険者増加している。				
	○ 財政調整基金 (急激な保険給付費の増加や収納率低下に備えて基金に積み立てしておくもの) 前年度と比較し、11.4%・9億6,255万円余増加している。				
	○ 保険料(税)収納率 前年度と比較し、0.5%増加した95.57%であり、前年度を上回った。				
	○ 医療費総額等 ・前年度と比較し、35億円減少の681億円となっている。 ・年度末の被保険者数は、前年度と比較し、1.5%、2,952人減の189,300人となっている。 ・医療費総額の減少は、被保険者数の減少及び新型コロナウイルス感染症拡大の影響による診療控えが要因として考えられる。 (※令和2年度の一人当たり医療費は前年度より2.7%減の355,155円となっている。)				